

史料が伝える風景 ～水俣十二景～

「水俣十二景」(市教育委員会蔵)は、島原の商人が江戸末期から明治初期にかけての水俣川河口沿岸部を描いた墨絵です。この絵図からは、河川改修前の浜町周辺の様子がうかがえます。

描いた人

栗原政太重義

江戸末期～明治初期の島原の商人。八代海で旅客・貨物の運搬業や物資の交易を行っていた。晩年は水俣に定住した。



本人自画像



旧古賀川・旧洗切川の合流地点である洲崎



帰舟を迎える船津の漁村



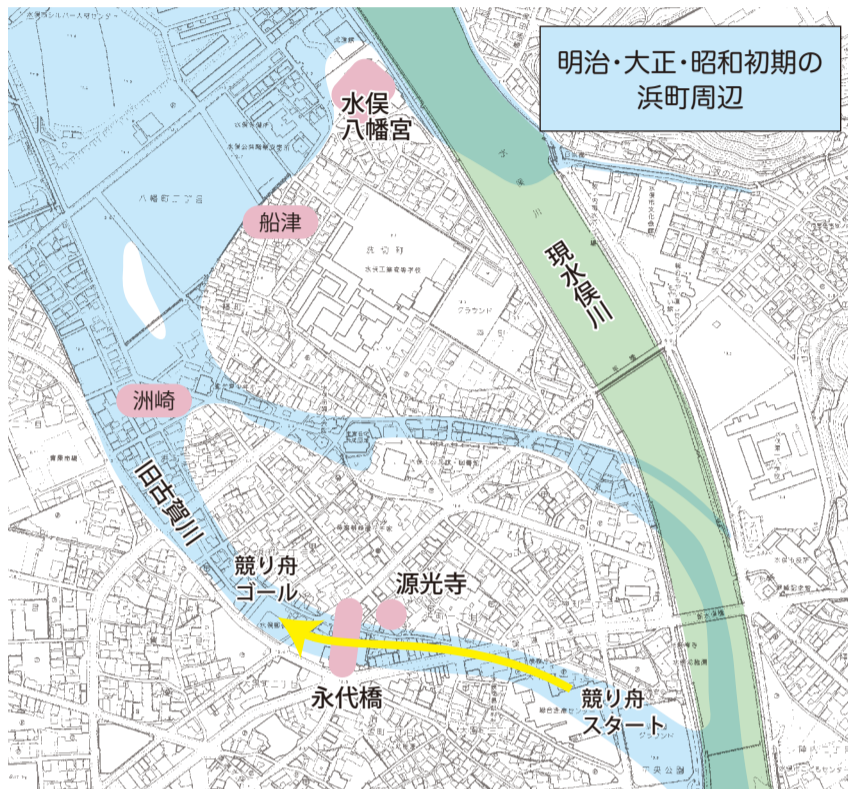
浜辺の松林の間に佇む八幡宮



太鼓橋姿の永代橋



タもやに浮かび上がる源光寺



明治・大正・昭和初期の
浜町周辺

水俣
八幡宮

船津

界水三

洲崎

競り舟
ゴール

源光寺

永代橋

競り舟
スタート

消えた中州の町 ～水俣川の河川改修～

長らく水俣の経済・物流の中心を担った旧古賀川・旧洗切川の2河川は、河口の砂の堆積により、次第に大きな舟を付けられなくなり、度重なる洪水発生も大きな課題でした。このため、昭和7～9年にかけて2河川は1本に改修され、中洲は姿を消しました。物資の集散地としての役割は、同時期に修築が進められていた百間港などに移っていきました。



年不明：川の水面が橋桁に迫った永代橋



大正 12(1923)年：浜本通りの洪水被害

水俣の名物行事 ～競り舟～

夏の風物詩「競り舟」は、明治の中頃から始まったといわれ、河川改修前は旧古賀川で開催されていました。「一番出し」を出発点に、永代橋をくぐり抜け、現在の水俣郵便局付近がゴールでした。競り舟の日は、河岸や永代橋が見物客で埋め尽くされました。



現在の競り舟大会(例年7月末頃開催)



源光寺付近に集まる選手たち



旧古賀川の河口周辺



見物客で賑わう永代橋

近隣店舗情報 徳富蘇峰・蘆花生家周辺に位置するお店です。

1 味処 池田屋
営業：12:00～14:00
17:00～22:00
店休日：不定休
TEL：0966-63-3836
地元食材と魚介料理のお店です。定食もあります。

3 喜楽食堂
営業：11:00～15:00
17:00～20:30
店休日：土曜日
TEL：0966-62-2629
水俣ちゃんぽん発祥のお店です。日替り定食は平日限定。

5 矢城食堂
営業：昼・夜の営業
※お問合せください
店休日：不定休
TEL：0966-62-2846
地元根付く定食屋さん。ちゃんぽんや丼もあります。

7 博多製菓
営業：7:30～18:00
店休日：日曜日
TEL：0966-63-3836
「博多パン」の名前で親しまれているパン屋さん。

2 レストラン ナポレオン
営業：10:30～15:00
17:30～21:30
店休日：月曜日
TEL：0966-63-2328
創業60年以上。レトロな霧田気の洋食屋さん。

4 ピザ&カフェ ピエロ
営業：9:00～20:00
店休日：水曜日
TEL：0966-63-7439
おすすめのピザは、充実のラインナップから選べます。

6 和風ダイニング 遊食三昧
営業：11:30～14:00
17:30～23:00
※日は夜のみ
店休日：月曜日
TEL：0966-63-3990
ランチ営業は定食メニューやちゃんぽんがあります。

8 緒方こうじ屋
営業：8:00～18:00
日)9:00～15:00
店休日：年中無休
TEL：0966-63-2219
徳富蘇峰の母から受け継いだ麴で作られた味噌等を販売しています。



←詳細情報、その他の店舗情報は、
水俣観光情報サイト「でかっか水俣」
をチェック！